

## ◆◆「新しい川崎」メール版◆◆

—2025年1月28日第161号—

### <目次>

#### ●—情報公開制度、さらに前進を目指して—

#### ◆あなたは、福田市政の12年をどう評価する？

#### ▲お知らせコーナー

- ① 1/30 気候危機・水素戦略に関するシンポジウム
- ② 1/30 台風19号水害川崎訴訟第14回口頭弁論
- ③ 2/1 川崎民主市政をつくる幸区の会スタートダッシュ集会
- ④ 2/16 等々力緑地を守ろう！市民連絡会結成のつどい
- ⑤ 2/22 ゆめシネマ「私は憎まない」—ガザ出身医師の決意—
- ⑥ 3/3 情報公開制度の透明性と公開性を求める裁判
- ⑦ 3/23 原発ゼロへのカウントダウン in かわさき

#### ★編集後記

#### ●『#チェンジ川崎』私の願い ⑨

#### —情報公開制度、さらに前進を目指して—

昨年までの4年間、皆様の応援をいただき川崎市教育委員会と闘った情報公開(会議の音声データ開示請求)裁判では、市教委の主張をことごとく退け、その間違った主張を厳しく諫める、私たちの完全勝訴となる判決を得ることが出来ました。

お陰様で私たちが開示を求めている音声データは、市教委の最高裁への上告断念後に開示され、川崎市の情報公開制度は一步前に進みました。

しかし、川崎市情報公開・個人情報保護審査会から音声データを開示せよとの答申を受けていたにも関わらず、市教委が教育委員会会議を非公開にして審議し答申を拒否裁決した詳細は、当日の議事録に非公開部分の審議内容が記録されていないため、いまだに明らかにされていません。

そこで不記載にされ隠されている答申拒否の顛末を明らかにするため、議事録の開示請求を行ないましたが、市教委はこの請求も以下の理由をあげて拒否しました。

「不開示部分には、議案に関する各委員からの意見や質疑が記載されており、会議の冒頭で非公開が決定され、会議録が公開されないとの認識で発言したにもかかわらず、後日公開されることになれば、今後の会議において委員の発言が萎縮する可能性は否めず、自由で率直な意見交換が困難になり、実施機関が所管する事務の遂行に支障を及ぼすおそれがある」(昨年12月の

非開示通知書より抜粋、下線は筆者)

市教委の判断が完全に間違っていたとの判決が確定したにも関わらず、「非公開を決めていたの  
で後日公開すると今後の自由な意見交換が困難になり事務遂行に支障を及ぼす」事を理由とし  
て、間違った判断への反省もなくあやまちを隠し通そうとする姿勢は許せません。

この言い分が通れば、会議の非公開さえ決めてしまえば役所側だけの都合で情報の公開をしな  
いで済ますことができてしまいます。

市に関する情報は公開が原則で、知る権利を最大限に尊重することで「市政運営の透明性の向  
上及び市民の信頼と参加の下にある公正かつ民主的な市政の発展に資する(条例第1条、抜  
粋)」とする、川崎市情報公開条例の理念を大きく損なうこととなります。

このような事態を見過ごすことは出来ません。

そこで、私たちは川崎市の情報公開制度をさらに透明で公正なものにするため、新たな裁判に取  
組むことにしました。

以下の日程で第1回の口頭弁論が行なわれます。

・日時:第1回 口頭弁論期日 3月3日(月) 午前10時30分開廷

場所:横浜地方裁判所(関内) 502号法廷

これからも多くの皆様のご支援よろしく願いいたします。

畑山 裕(情報公開制度を活かす川崎市民の会)

## ◆福田市政の12年をどう評価する？

川崎市長選が9カ月後に迫った1月24日に、川崎民主市政をつくる会は、「福田市政12年の  
大問題マップ」を発表し、広範な市民討議を次のようによびかけました。

「私たちの税金で行われている川崎市政のこと、みんなで考えてみませんか？この大問題マップ  
を参考にして、あなたのまわりで川崎市政について話し合ってみませんか。皆さんの声をお寄せく  
ださい。」

福田紀彦後援会は、新年になって、2025年の後援会入会案内をこれまでの会員などに送りました。  
そこには、「福田紀彦ってどんな人？」というきれいなパンフレット(10頁)と、入会・更新案内と  
新ポスター掲示への協力よびかけが入っていました。

パンフレットの裏表紙には、福田氏の新ポスターと同じ写真の横に。次のような言葉が書かれてい  
ます。

「川崎の未来を実行する。」「『最幸のまち かわさき』の実現を目指して、さらなる進化をみなさんとともに」

福田市長 4 期目への意欲まんまんのパンフレットと読み取りました。

それでは、福田氏はどんな川崎の未来を実行しようとしているのでしょうか。

それを知るためにも、福田市政 3 期 12 年の施策の検証が必要です。

今回、川崎民主市政をつくる会が発表した、「福田市政 12 年の大問題マップ」は、この検証のために役立つ資料になっています。

大問題は、16 のトピックに絞りました。

今後の市民討議の中で、記載できなかった「大問題」が指摘され、共有されていけば、第2弾を作成する予定です。

ここで、16 トピックを紹介します。

#### <大問題 A グループ(全市民の大問題)は、9 トピック>

- 1.大量の教員未配置で学校が悲鳴
- 2.子ども医療費助成の遅れはワーストワン
- 3.園庭のない保育園が急増
- 4.特養老人ホーム、新規建設計画なし
- 5.市営住宅新規建設計画せず、住まいは人権の考えなし
- 6.自衛隊に青年の個人情報を提供
- 7.ぜん息患者医療費助成制度を廃止
- 8.公共の役割を捨て、民間活用,PFIを推進
- 9.中小規模事業者支援に冷たく、大企業には税金を大伴ぶるまい

#### <大問題 B グループ(各地域の大問題)は、7 トピック>

- 1.リニア大深度トンネル工事受け入れ
- 2.等々力緑地の樹木大量伐採
- 3.西加瀬に巨大物流倉庫
- 4.民間企業大もうけの駅前再開発を後押し

- 5.多摩川決壊の対策、進まず
- 6.臨海部扇島に水素基地、市税 2000 億円を投入
- 7.コンビナート上空の飛行、容認

あらためて呼びかけます。

私たちの税金で行われている川崎市政のこと、みんなで話し合ってみませんか？

その資料としてこの大問題マップを活用してください。

マップ実物や報告者派遣が必要な場合は、以下にメールをお願いします。

→ [info@newkawasaki.jp](mailto:info@newkawasaki.jp)

市古博一(川崎民主市政をつくる会事務局)

## ★お知らせコーナー

### ①気候危機・水素戦略に関するシンポジウム

日本最大の CO2 排出都市・川崎市をどうするのか

1/30(木)18:30

エポックなかはら 7F 大会議室

問い合わせ

044-200-3360(共産党市議団)

ズーム視聴希望の方は以下のアドレスにお申込みください。

<[info@jcp-kawasaki.gr.jp](mailto:info@jcp-kawasaki.gr.jp)>

[詳しくはこちら](#)

### ②台風 19 号多摩川水害川崎訴訟第 14 回口頭弁論

1/30(木)14 時開廷(13:30 より事前集会)

横浜地方裁判所・川崎支部 1 号法廷

[詳しくはこちら](#)

### ③川崎民主市政をつくる幸区の会スタート集会

2/1(土)13:30 から

幸市民館第1会議室

連絡先 坂内(080-5653-6196)

#### ④第2回等々力緑地再整備を考える学習と調査のつどい

～公園や緑地を「もうけの場」にしているのですか～

2/16(日)13:30～16:30

会館とどろき・大会議室

第1部 講演 PFIから公園・緑地を守る

講師:中川勝之弁護士

第2部 冬の等々力緑地のお散歩と調査

ガイド:等々力緑地を守る会

資料代:300円

連絡先:090-7830-8030(市古)

[詳しくはこちら](#)

#### ⑤ゆめシネマ「私は憎まない」ーガザ出身医師の決意ー

2/22:かわさきゆめホール

① 9時 ② 12時 ③ 15時 ④ 18時

一般:1000円 当日:1500円 障がい者・学生:500円

お申し込みは

044-433-3003 ゆめホール

[cinema@kawasakiyume.com](mailto:cinema@kawasakiyume.com)

[詳しくはこちら](#)

#### ⑥情報公開制度の透明性と公開性を求める裁判

ー第1回口頭弁論ー

3/3(月)10:30開廷\*

横浜地方裁判所 502号法廷(横浜市関内)

#### ⑦原発ゼロへのカウントダウン in かわさき

3/23(日)中原平和公園

連絡先

044-211-0121 川崎合同法律事務所

[kibounotubasa@gmail.com](mailto:kibounotubasa@gmail.com) (かもした)

詳しくはこちら

<https://genpatsuzero.net/>

## ★編集後記

### 読書のすすめ「杉並は止まらない」

2022年6月に杉並区長になった岸本聡子さんが、2024年11月に、就任からの2年間を振り返って「杉並は止まらない」を出版しました。

岸本聡子区長は、SNSでもたくさんの発信をしていますが、一冊の書物として岸本区政の2年間を読んでみると、ずっしりとした重みを感じ、強い刺激をあたえてくれる書です。

岸本さんは、区長に当選した約半年後の2022年12月に「地域主義という希望～欧州から杉並へ、恐れぬ自治体の挑戦」を出版しました。

これは、区長として進める方向性を内外に宣言したと言えるでしょう。

その本で、私が強く納得した文章を紹介します。

「政治とは生活そのものです。地域に暮らす住民が、自分たちの生活を守り、よりよくしていくために、必要な公共のインフラ整備や福祉、都市計画、教育などを行政機関を通じて運営していく、それが地方自治ということです。」

その宣言がどうだったのかの中間報告が、新著「杉並は止まらない」なのです。

私は、もちろん杉並区で生活していてもいないし、杉並区議会を傍聴したこともありません。

ですから、目次の項目になっている「住民との対話がすべての出発点」や、「指定管理者制度を検証」や、「道路は公共空間」などの記述が実際にはどうなのかを自分の目で検証することはできません。

それでも、読みながら「その通り！」と机をたたいたり、「そんなことができるの？」と何度も何度もつぶやいたりしてしまいました。

#チェンジ川崎の楽しいヒントをみつけ、市政をごいっしょに変えていくための必読の書として、読んでみませんか。

◇ 出版社:地平社

◇ 定価: 1760円(本体1600円)

[詳しくはこちら](#)

☆☆チェンジかわさき！☆☆

川崎民主市政をつくる会

〒211-0011 中原区下沼部 1880

お問い合わせ

[mailmag@newkawasaki.jp](mailto:mailmag@newkawasaki.jp)

公式ホームページ

<https://newkawasaki.jp>

☆☆チェンジかわさき！☆☆

配信を希望されない方は以下をクリックしてください。

自動的に登録を解除します。

[https://my922p.com/User/cancel\\_mail/fMwwpqj4/uaXoW18S31rs?mail=talosxxx%40gmail.com](https://my922p.com/User/cancel_mail/fMwwpqj4/uaXoW18S31rs?mail=talosxxx%40gmail.com)

誤って登録解除した場合、以下までご確認ください。

[mailmag@newkawasaki.jp](mailto:mailmag@newkawasaki.jp)